

おおがわら

議会だより



第153号

令和元年11月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



10月5日
大河原カトリック幼稚園

関連記事 P23

- 平成30年度決算状況……………②③
- 決算審査特別委員会審議 ……④⑤
- 町政への提言……………⑥
- その後どうなったあの提言 ……⑰
- 議案審議(7月・9月会議) ……⑱⑲
- 委員会発議……………⑳㉑

一般会計 前年度比 2.4%増の 83億8533万円

財政状況の健全化 確実に前進

財政健全化判断比率の状況



今後も安心安全なおいしい給食を

(単位:%)

区分	平成30年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.97	20.00
連結実質赤字比率	—	19.97	30.00
実質公債費比率	▲1.0	25.0	35.0
将来負担比率	32.5	350.0	

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の財政規模に対する公債費の割合
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

8会計決算額

(単位:万円)

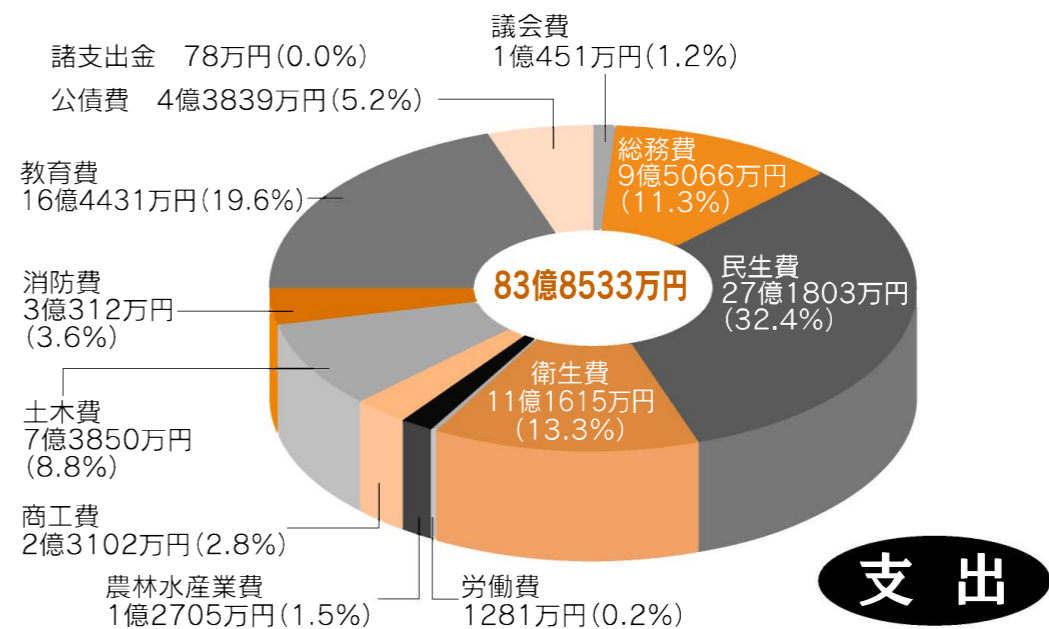
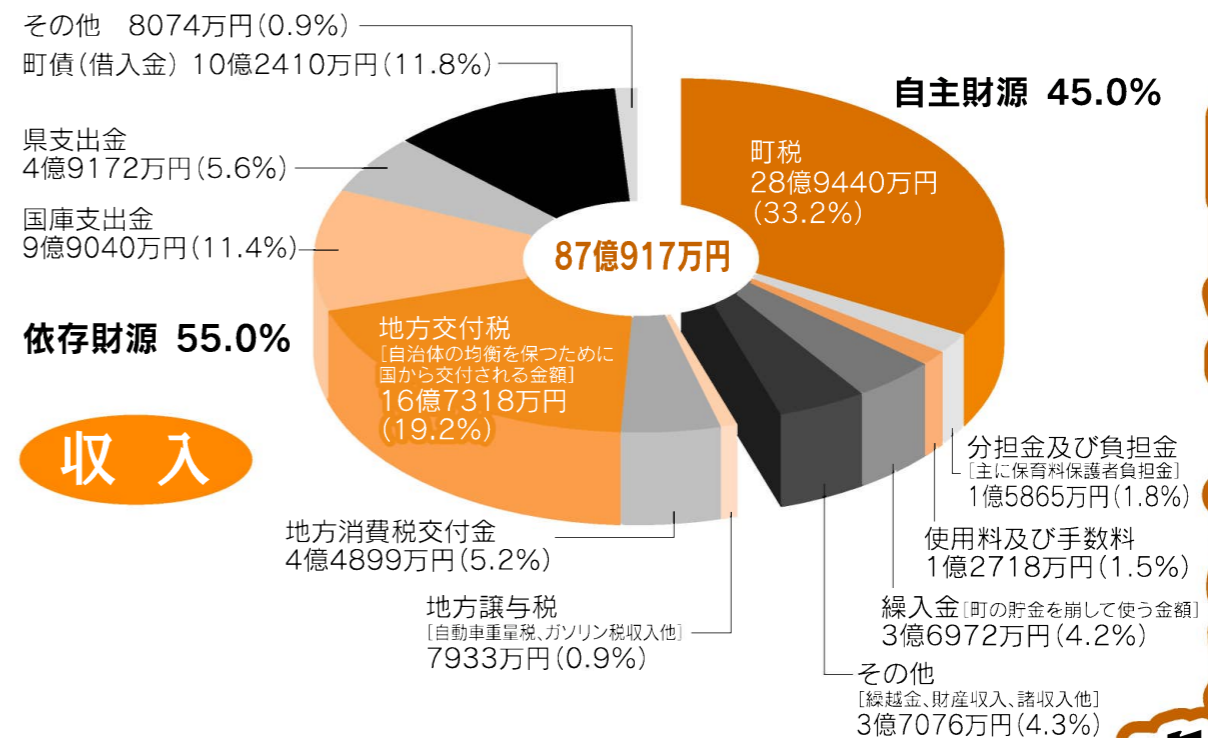
会計名	歳入	(前年度比較)	歳出	(前年度比較)	
一般会計	87億 917万円	0.7%	83億8,533万円	10.4%	
後期高齢者医療特別会計	2億7,189万円	2.1%	2億6,784万円	2.4%	
国民健康保険特別会計	22億8,532万円	▲9.8%	22億3,315万円	▲4.6%	
介護保険特別会計	13億4,306万円	▲2.7%	12億6,509万円	▲1.9%	
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	5,084万円	▲0.6%	4,831万円	1.2%	
地方卸売市場事業特別会計	412万円	▲12.3%	362万円	6.5%	
公共下水道事業特別会計	14億5,046万円	75.5%	14億1,480万円	77.1%	
水道事業会計 (税込)	収益的収支	6億7,117万円	▲5.9%	6億 39万円	5.1%
	資本的収支	7,000万円	40.0%	2億1,296万円	▲12.0%
合計	148億5,603万円	1.1%	144億3,149万円	1.6%	

一般会計

第3回定例会は、9月5日から19日までの15日間の会期で開かれた。

今定例会では、平成30年度各種会計決算の認定の他19件の提案を慎重に審査し、すべて認定、可決した。

一般質問では10議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点を問いただした。



町民一人あたり36万円使われました

決算審議

可決

全会一致で

決算審査特別委員会で行われた質疑の一部を掲載（議席番号順）。決算審査特別委員会は議長、議会選出の監査委員（堀江一男）を除く議員で構成される。委員長（高橋豊）は議事運営のため、質疑は行わない。

伊勢 敏

問 ふるさと納税制度の本町にとっての評価を行うために聞く。寄付金720万円から、返礼品費、業務委託料、手数料の合計293万円のほか、他自治体に寄付した町



民の住民税控除を差し引いた額は。

答 町民税控除分は算定していない。

問 農地利用最適化交付金90万円により解消された遊休農地の面積、活用法、遊休農地全体の面積は。

答 全体面積70ヘクタール中、2ヘクタール解消。農地整備しただけ。作付けなどの有効利用はなかった。

問 農業振興費及び農業委員会費により、先進地視察を行った。

答 視察は、本町農業の6次産業化及びブラン

ド化の推進に重要。視察における一貫したテーマの有無、テーマの設定方法はあるか。

須藤 慎

問 橋本生活センターの使用状況は。また、地域からはどのような要望があるのか。

答 地区で資材置き場として利用。以前から解体についての問い合わせはあるが、まだ結論には至っていない。

問 2割増商品券は、町内でどのような使用されたのか。

答 商工会から使途報告を受けている。主にコンビニで使われた。

問 30年度のALITの配置は2名だったが、これで足りて

いるのか。

答 足りていないと感じている。今後、増員に向けて検討する。

大沼 忠弘

問 外国語指導助手配置事業について、「英語が使える日本人」の目標達成度は。またまだ課題がある。

答 ある。

駅前立体駐車場の利用時間延長の声は。

答 ニーズはあるが、利用時間の延長は指定管理料増加に繋がる。

岡崎 隆

問 「心のケアハウス」が3年経過。支出は前年度とほぼ同額だが、人員や事業の工夫は。

答 再度登校する事例が増加。公用車での送迎で、利用促進にもつながった。全国からの視察も増えている。

丸山 勝利

問 デマンドタクシーの年間最大利用回数と地域別利用状況は。

答 最大利用回数は469回。地域別利用は統計をとっていない。

問

デマンドタクシーの地域別利用状況を把握し、交通弱者救済の事業になっているか確認すべきではないか。

答 今後、交通弱者のための事業にしたい。



問

農業団体育成事業対象の小山田ゆず生産組合が解散。もつと農家と連携を図るべきではないか。

答 小山田ゆず生産組合の解散はショック。今後、農家等と連絡を密にとりたい。

万波 孝子

問 えすこホールの負担金約8000万円を減らすための話し合いは行われたのか。

答 負担割合は大河町25%、村田町8%。今後、大規模改修のため負担増となる。公共施設基金で対応する。



問

紙おむつの支給対象者であることを知らないでいる人もいる。どのように周知しているか。

答 「包括だより」に掲載。ケアマネ

山崎 剛

問 桜樹保護委託、樹木医委託の成果は。

答 老木化した桜樹に菌が入ると空洞化を引き起こす。そのため、樹木医の指示に基づき事業者が処理している。

秋山 昇

問 柴田斎苑の3町の負担金額は。

答 大河原町8215万円、柴田町1億1926万円、村田町5009万円。



山崎 剛

問 総務管理費・備品購入費の50万円が全額不用となった理由は。

答 機器の故障等緊急事態に備えるために計上。今回はそうした事態が発生しなかったため全額不用に。



総括質疑

万波 孝子

問 増税は、貧困と格差をさらに広げる。町民を守るため、行政としての役割をどう果たすのか。

町長 個人消費の停滞など経済への悪影響を危惧しているが、増税分は年金医療や介護の社会保障給付等に充てるものであり、必要と考える。

万波

問 滞納総額は約3億8400万円。この状況から、町民の暮らしの実態をどう分析しているか。

町長 この結果のみで生活実態を知ることは困難。納税は国民の義務である。今後

万波

問 国保の滞納総額は約1億5000万円。国保税が高くて払いきれない町民が多くいることが、この数字に表れていると言えないか。

町長 長期間にわたる未納の方が数多くいると理解している。課税については、適正、公平のもとで軽減、減免等の措置を行っている。

万波

問 国保基金残高は約3億9000万円。取り崩して減税などに充てるべき。

町長 保険料が大幅に上がらないよう活用する。

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

- 高橋 芳男 P ⑦
 - 「暗所視支援眼鏡」を日常生活用具給付等事業に追加
 - 防犯カメラの設置について
 - ※SDGsの実現について
 - 妊孕性温存治療への助成について
- 万波 孝子 P ⑧
 - 補聴器購入補助制度の創設を
 - 国保税、子どもの「均等割」の免除、軽減を
- 大沼 忠弘 P ⑨
 - システム関連予算について
 - 「まちづくり夢・未来会議」について
 - ※夏休み小学生スポーツ大会について
- 丸山 勝利 P ⑩
 - 防火水槽の有蓋化について
- 伊勢 敏 P ⑪
 - 原発事故由来の放射能大気汚染への対策について
 - 都市計画マスタープランについて
- 高橋 豊 P ⑫
 - 18歳成人の対応について
- 岡崎 隆 P ⑬
 - 減災対策はマンネリ化していないか
- 須藤 慎 P ⑭
 - RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)について
 - 教育施設について
- 佐久間 克明 P ⑮
 - 独居高齢者と町の関わり方
 - ※自動車行政の今後
- 山崎 剛 P ⑯
 - 中心商店街衰退の一途
 - 小・中学校のグラウンド(校庭)改修について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。内容は、大河原町議会ホームページ内の「中継・録画映像」で視聴できます。(https://www.town.ogawara.miyagi.jp)



日常生活用具給付対象に

需要の把握に努める

昨年11月に熊本県で暗所視支援眼鏡の実装体験が行われた。これに参加した網膜色素変性症の患者から、暗闇から解放され驚きの声



高額な暗所視支援眼鏡

が上がった。「暗所視支援眼鏡」は約40万円と高額で、購入には高い壁があるが、熊本県天草市では日常生活用具3要件を



高橋 芳男

満たしているとして、日常生活用具給付等事業に追加された。

高橋 本町でも、導入すべきだと考えるがどうか。

町長 現在、本町における網膜色素変性症の方は9名、そのうち夜盲の方は4名と思われる。今後は、視覚障害者関連団体と連携を取りながら町内の需要の把握に努め、状況を考慮し対応する。

防犯カメラを
設置せよ

高橋 さいたま市では昨年1年間で子どもに対する声かけ事案が663件発生し、

自動販売機に防犯カメラを設置している。大阪市では、自動販売機設置業者が防犯カメラの設置費用や、光熱水費を負担する公募方式により、コストゼロの防犯カメラ設置を進めている。本町でも導入すべきと考えるがどうか。

町長 本町では公園内での迷惑行為は少なく、設置は不用と思われる。近年迷惑行為の多い駅東口への防犯カメラ設置を計画しているところであり、提案のあった民間事業者の協力なども考慮する。

採取・凍結には15〜45万円、精子の場合は2〜7万円かかり、後の冷凍保存にも1〜6万円かかる。埼玉県では最大25万円を助成する制度を創設した。本町も、この制度を採用すべきと考えるがどうか。

町長 宮城県では、がん・生殖医療ネットワークで、情報提供や適切な生殖医療が行われている。妊孕性温存治療の助成制度は都道府県による創設が増えており、本町も県へ制度創設を要望する。

※妊孕性温存治療
がん治療前に卵子や精子を冷凍保存することで、妊娠の可能性を残す治療法。

暗所視
支援眼鏡

システムエンジニア雇用を

柔軟な対応をしたい

毎年、パソコンネットワーク関連で相当額の予算が計上されている。専門的知識、技術を要したシステムエンジニア（以下SE）を



行政コスト削減にメスを

雇用することで、外注せず経費圧縮にならないか。また、自治体クラウドの活用により、コスト削減につながる。



大沼 忠弘

町長 専門的知識を兼ね備えた人材の

は。業務を内部でできないか検討しているとの事だったが、その後の経過は。

大沼 予算委員会の際、システム関連業務を内部でできないか検討しているとの事だったが、その後の経過は。

町長 これまでのところ検証していませんので、答えかねる。

町長 SEがいれば外注せずに済む業務はあるか。

大沼 委託している業務の中で、専門SEがいれば外注せずに済む業務はあるか。

町長 平成30年度分、委託料約9100万円、賃借料で約9200万円。

大沼 直近のネットワーク関連の委託料、賃借料の合計は、平成30年度分、委託料約9100万円、賃借料で約9200万円。

町長 国や県の助成制度の動向を注視する。補聴器購入及び購入費助成の要望を把握し、その状況を考慮して対応する。

大沼 国や県の助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

万波 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 講座については、現在のところ考えていない。

万波 高齢者の補聴器使用状況は、補聴器の相談はほとんどないで、把握していない。

町長 難聴の早期発見、早期対応が必要であることから、基本健診に聴力検査を加えることはできないか。

万波 そうした中、補聴器は片耳15〜30万円と高額で保険適用外であることから、高くても手が出ない等の声が寄せられている。

町長 団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、認知症の人は予備軍と合わせて140

70歳以上の高齢者の約半数が加齢性難聴になると言われている。難聴を放置していると、認知機能が低下することが分かっている。厚生労働省の「認知症施策推進総合戦略2015」でも、難聴は危険因子の1つとして挙げられている。

町長 0万人になる。補聴器が必要な難聴者も今後10年間で1400万人から1600万人になると言われ、そういう意味でも認知症予防に難聴対策が注目されている。

万波 高齢者の補聴器使用状況は、補聴器の相談はほとんどないで、把握していない。

町長 講座については、現在のところ考えていない。

万波 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

町長 補聴器は高額で保険適用外である。助成制度は必要ではないか。

一般質問

補聴器

購入助成制度の実施を

国・県の動向を注視し対応



万波 孝子

町長 212世帯で349人。

万波 仮に3割減免した場合の減免額は、実施は十分可能強く望む。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

町長 309万円となる。

難聴の程度分類	
中等度難聴 (40~69デシベル)	できる限り近くで話をしてもらわないと聞こえない。
高度難聴 (70~89デシベル)	耳元で大声で話しかけてもらわないと聞き取れない。
重度難聴 (90デシベル以上)	工事現場の騒音や、自動車のクラクションしか聞こえない。

*高度難聴、重度難聴は身体障害者に認定され、障害者総合支援法により5年ごとに補聴器購入費の一部が助成される。

まちづくり 夢・未来会議

町長 中学生による「まちづくり夢・未来会議」が6月22日に開催された。この会議がきっかけとなり、冬の桜イルミネーションが具体化され、新たな町の見所を創造することにつながっている。出てきた中学生の意見を具体化

町長 既に活用している自治体の推移を見守りながら、今後情報収集に努める。

大沼 活用は検討しているか。

町長 確保は必要と考えている。しかし、本町のシステムの大部分は費用を抑えるために全国的に共通化されたパッケージを導入しているため、改修の権限は開発元となり、町が直接手を入れることはできない。

町長 今後も同会議は継続していくの。

大沼 継続していくの。

町長 継続していくの。

※自治体クラウド
地方公共団体が情報システムを庁舎内で保有・管理せず、外部のデータセンターを回線経由で利用すること。

一般質問

消防施設

防火水槽の有蓋化を^{ゆうがい}

施設全体で検討する



丸山 勝利

に考えたい。
丸山 水質が悪化する
と、害虫や異臭
などの発生により、近
隣住民の迷惑となる。
また、給水管投入口の
小さな扉から、子ども
が進入することによる
事故も懸念される。こ
れらを加味すると、や
はり有蓋化を進めてほ
しいと考えるがどうか。

町長 子どもの事故は
絶対あってはな
らないので、フェンス
の管理、修繕をもう1
度検証したい。
今後は防火水槽の有
蓋化も含め、消火栓、
防火水槽の設置や改修
について、ポンプ小屋
などの消防施設全体
の中で優先順位を踏まえ
て、改修等を進めたい。

火災発生時、必要不
可欠な水利として防火
水槽がある。大きさや
防火対象物からの距離
によって基準が定めて
あり、火災のときには
消火栓とともに大きな
役割を果たしている。
本町の防火水槽70基の
うち、27基が無蓋式防
火水槽となっている。
無蓋式防火水槽は水
質の悪化による蚊など
の虫や、汚泥の蓄積に
よる腐臭の発生など、

防火水槽周囲の地域住
民に多大な迷惑をかけ
る恐れがある。
また、子どもが防火
水槽に侵入して、水槽
内に落下するなどの危
険が懸念される。

すぐに取り組むことが
できない状況にある。
丸山 町内の防火水槽
は古いものが多いが、
水の入れ替えはどのく
らいの頻度で行われる
のか。

た、消火栓であれば水
質に問題はないが、地
震の際には使えなくな
る可能性もある。清掃
やメンテナンスを考慮
すると、有蓋化するこ
とが1番良いと考える
が。



安全で衛生的であるために

丸山 地元の消防団に、
総務課長 年1回程度の実
施をお願いしている。
水の入れ替えに
丸山 は時間がかかる
うえに、消防団の人員
も必要となり、団員の
負担が大きくなる。ま

町としては、消
火栓で対応でき
るところは有蓋化では
なく、消火栓に切り換
えたいと考えている。
実質的には費用の問
題もあるので、総合的

肺内部被ばく検査せよ

今後とも検査はしない

本年1月から3か月
間、本町と周辺市町15
か所で屋外にさらした
麻布1m当たりから
0.231ベクレルの
セシウムが検出された。



セシウムを検出した麻布。誰にもある肺に吸い込む可能性

ニコチンやタール、P
M2.5などの小さな
粒子、さらに小さなセ
シウム粒子が肺に入れ
ば、肺内部（肺胞）に
とどまる。肺胞内のセ

シウムの放射線が間近
の肺細胞を攻撃し続
け、肺がんの原因とな
る。
本町の空間放射線量
が自然界の放射線の約
3倍と高い原因は、セ
シウムが影響している
と考えられ、肺が内部
被ばくしているおそれ
があり、肺内部のセシ
ウム発見が肺がん対策
上、重要である。
一方、本年6月議会
で指摘したが、宮城県
（とくに南部）で肺が
ん罹患率が急増してい
る。
イタイイタイ病は、
カドミウムの因果関係
の証明が困難なまま、
状況証拠から公害病第
1号に認定された。

大気中のセシウ
ムを検出したこ
とは、肺がん増加の状
況証拠である。セシウ
ムの存在が明らかにな
り、何も疑問に思わな
いか。
また、肺内部のセシ
ウムを発見するため、
ホールボディカウンタ
検査の実施、あわせて、
丸森町で4人の子ども
が発症した甲状腺がん
検査の実施を求める。
町長 議員が示した肺
がんの増加デー
タ、セシウムの検出デ
ータからは、何ら疑問
を感じない。
肺がんの発症の原因
が放射線によると科学
的・医学的に立証され
ておらず、現状ではホ
ールボディカウンタ検
査と甲状腺がん検診は
実施する考えはない。

の策定に際し実施さ
れたアンケートにおい
て、最も多くの町民が
求めたのは工場の企業
誘致であるが、工業用
地を増やす計画になっ
ていない。
プランの資料では、
1985年から201
4年までに、1人当た
りの工業の製造品出荷
額は26%増加したのに
対し、商業の年間販売
額は30%減少した。
このデータから、今
後は、商業振興から工
業振興に政策転換する
ことが重要であること
が分かる。
伊勢 町民所得を上げ
るため、工業誘
致が効果的である。
工業用地の拡大を重
点プロジェクトに位置
付けて取り組むべきだ。
上大谷の農工団地の開
発に着手すべきではな
いか、検討せよ。

町内大気中にセシウム



伊勢 敏

工業用地に
上大谷農工団地を
本年策定された本町
都市計画マスタープラ

重要なポイント
として考えてい
く。

一般質問

成人年齢引き下げ

成人式は18歳で行うのか

20歳に記念式典として開催



高橋 豊

を下回っている。若年層の投票率向上を目指し、様々な取り組みを行っている。

町長 投票立会人は平成27年に期日前投票所の立会人を募集し、現在20名の登録がある。若い世代の方が登録するよう働きかけを検討する。

町長 20歳の記念式典として今後も開催していく。18歳での成人式は受験等の影響により当日の参加が難しくなり、出席者が減少することが危惧される。現時点では難しいと考える。

高橋 若者世代にまちづくりを考えてもらう機会として、全国的に「若者会議」という仕組みを作っている自治体もある。本町の考えは。

高橋 7月21日に投票率50%を目標とする。投票率向上のため、異なった角度からの意見を大切にしていきたい。

町長 20歳の記念式典として今後も開催していく。18歳での成人式は受験等の影響により当日の参加が難しくなり、出席者が減少することが危惧される。現時点では難しいと考える。

高橋 若者世代にまちづくりを考えてもらう機会として、全国的に「若者会議」という仕組みを作っている自治体もある。本町の考えは。

高橋 7月21日に投票率50%を目標とする。投票率向上のため、異なった角度からの意見を大切にしていきたい。

町長 20歳の記念式典として今後も開催していく。18歳での成人式は受験等の影響により当日の参加が難しくなり、出席者が減少することが危惧される。現時点では難しいと考える。

高橋 若者世代にまちづくりを考えてもらう機会として、全国的に「若者会議」という仕組みを作っている自治体もある。本町の考えは。

高橋 7月21日に投票率50%を目標とする。投票率向上のため、異なった角度からの意見を大切にしていきたい。

町長 20歳の記念式典として今後も開催していく。18歳での成人式は受験等の影響により当日の参加が難しくなり、出席者が減少することが危惧される。現時点では難しいと考える。

高橋 若者世代にまちづくりを考えてもらう機会として、全国的に「若者会議」という仕組みを作っている自治体もある。本町の考えは。

高橋 7月21日に投票率50%を目標とする。投票率向上のため、異なった角度からの意見を大切にしていきたい。

町長 20歳の記念式典として今後も開催していく。18歳での成人式は受験等の影響により当日の参加が難しくなり、出席者が減少することが危惧される。現時点では難しいと考える。

高橋 若者世代にまちづくりを考えてもらう機会として、全国的に「若者会議」という仕組みを作っている自治体もある。本町の考えは。

高橋 7月21日に投票率50%を目標とする。投票率向上のため、異なった角度からの意見を大切にしていきたい。

町長 20歳の記念式典として今後も開催していく。18歳での成人式は受験等の影響により当日の参加が難しくなり、出席者が減少することが危惧される。現時点では難しいと考える。

高橋 若者世代にまちづくりを考えてもらう機会として、全国的に「若者会議」という仕組みを作っている自治体もある。本町の考えは。

高橋 7月21日に投票率50%を目標とする。投票率向上のため、異なった角度からの意見を大切にしていきたい。



様変わりする成人式

高橋 2023年1月の成人式の対応は。

町長 社会的責任を自覚するための機

町長 案を積極的に取り入れる体制を整えていくことは、重要な課題と考えている。また、

町長 本町の18歳の投票率は40・37%、19歳の投票率は36・15%。全国の投票率31・33%は上回っているが、前回平成28年の同選挙の投票率45・45%

総務課長 団員からは、若手が少ないという意見が一番多い。さらに労働条件の変化によって、平日中にいる人が少なくなっている現状もある。

総務課長 今後、広報等に、広く周知を図りたい。

マンネリ化していないか

活性化に取り組む



台風19号通過時の白石川(尾形橋付近)

東日本大震災から8年半が経過し、風化が懸念される。地域コミュニティの弱体化、消防団員の確保、世代間

を繋ぐ自助共助の意識の低下など、本町には課題が多い。そこで、幅広い世代が命を守るために学

岡崎 いざという時に機能できるように、自主防災組織の組織率だけでなく、活動内容や住民参加率、年代層を把握する必要があります。あるのではないかと。

町長 現在、女性消防団員の位置付けや、女性団員増加について、どのように取り組んでいくのか。

岡崎 防災士に続いて、避難所開設や負傷者への対応に特化した「防災介助士」という資格制度が新たに創設された。この資格にも助成制度を設けてはどうか。特に女性消防団員育成、充実に欠かすことのできない資格と考える。重ねて周知の徹底が必要と考えるがどうか。



岡崎 隆

岡崎 全国で防災士は17万人を超えており、宮城県では5千人弱の防災士が育成されている。本町では一昨年から、防災士取得

総務課長 この資格について、いろいろな学びながら進めていきたい。

一般質問

大中体育館

別の場所に建設するのか

その方向で考えている



須藤 慎

須藤 大中体育館建替えについて、現在の状況と今後は、

教育長 本年度予算で「耐力度調査」及び「将来計画策定業務」を完了したところ。今後、関係機関との協議やヒアリングを行い、増改築事業の確定に向けて事務を進めたい。

須藤 既存の体育館を利用しながら、建設を行うのか。

教育長 既にそのような方向で進めているところ。今後、基本的な計画が策定された段階で、検討委員会や説明会を開催し、広く皆様のご意見をいただき、それを踏まえて決定していきたい。

須藤 今の場所に建てるべき。

教育総務課長 大規模校という観点から、既存の建物を壊しながらということもなかなか難しい。

全国学力調査

須藤 平成31年度全国学力調査における本町の結果は、表の通り。

教育長 現小学校6年生の算数については、全国1位の石川県に次ぐ数値となっている。

須藤 大河原町の学力は大変注目を浴びている。教育長の認識は。

本町の調査結果

	点数(全国との比較)	
	小学校	中学校
国語	65(+1.2)	72(-0.8)
算数・数学	70(+3.4)	57(-2.8)
英語	—	51(-5.0)

教育長 県内外から広く注目を得ていると認識している。宮城

県教育委員会では、大河原方式の学力向上策を参考に「学力向上マネジメント支援事業」を立ち上げた。本町の取り組みが成果として表れていることが、認められたものと考えている。

RPA導入を

須藤 年々、役場職員の業務量が増加しているため、職員の負担軽減と事務作業の効率化のために、RPA

Aを導入してはどうか。他の自治体や国の機関による実証実験の結果を踏まえ、導入時期やソフトウェアの費用対効果、既存システムへの対応等の検証を重ね、慎重に対応していきたい。

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)人が手入力で行っているデータ入力などの作業を自動処理するシステム。



建替えに向けて今後計画が進む大中体育館

独居高齢者と町の関わりを

重視する

在宅看取り



全国的に関心が高まる在宅看取り

平均寿命の延伸に伴い、単独世帯(子どもを持たない独居高齢者も含む)や虚弱な高齢夫婦のみの世帯が増えつつあり、認知機能障害を含め様々な障害を持つて暮らす人が増えている。

今後、さらに進む少子化と多死化社会において死をどのように迎えるのか。とくに独居高齢者を誰がどこで看取っていくのかという現実的問題が、一層大きな社会問題になっていくと考える。

佐久間 県南中核病院において、独居高齢者の入院、看取りについて苦慮している話を聞く。町はどのような報告を受け、対応しているのか。

町長 苦慮している報告は受けている。情報提供の要望や個別の相談がある場合は、地域包括支援センターにて、その都度個別対応をしている。主な内容は、センターと関わりのある方について、家族の連絡先や退院後の生活に関する相談となっている。

佐久間 町は、在住独居高齢者の人数、

所在、配偶者の有無や住所をどの程度把握しているのか。

町長 住民基本台帳(平成31年3月末)から抽出した65歳以上の独居高齢者は1188人で、本町高齢者人口の18.7%となっている。独居高齢者の配偶者の有無や所在は把握していない。

佐久間 高齢者の健康調査では、最期を迎える場所として本人、同居配偶者ともに、自宅を希望している割合が高い。

しかし、様々な理由で実現不可能であると諦めている結果も出ている。「独居高齢者の在宅看取りができる地域づくり」に対し、町はどのような見解か。

町長 本町は在宅における医療と介護の連携推進や地域での見守り、生活支援サービスの検討に取り組んでいる。人生最後まで暮らし続けることができる地域づくりに繋がると考える。終活をテーマにした講演会も開催し、多くの町民が参加し、考える良い機会になったと思うので、事業継続をしていく。



佐久間克明

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

ヘルプカードの作成・配布

お願い

このカードには、私の支援してもらいたい内容が書いてあります。このカードを参考に支援をお願いします。自分では対応できないと判断した場合には、緊急連絡先または119番に連絡をお願いします。

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード

大河原町

名前	血液型
性別	年齢
生年月日	住所
電話番号	緊急連絡先

障がい・病名	症状
かかりつけの病院	緊急連絡先

小中学校トイレ洋式化



提言

障がいのある人が緊急時や災害時、困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするもの、導入を急ぐべき。

提言

5つの小中学校トイレは教職員用も含め、洋式化が進んでいない。計画的に整備すべき。

議員の提言
(一般質問)

平成26年 9月
平成29年12月

平成30年
10月1日から
配布開始

追跡結果

平成30年10月1日から本町でも配布を開始。障がいのある人（障害者手帳の有無は問いません）、難病の人、妊娠初期の人が対象。

議員の提言
(一般質問)

平成26年9月

令和元年
現在

追跡結果

国土強靱化関連事業の活用により、令和元年9月補正で工事請負費として予算計上。令和3年3月末までに工事終了見込み。

一般質問

商店街

疲弊への対応策は

商店街で方向性を共有してほしい



山崎 剛

山崎 中心商店街を散策してみれば、シャッターを下ろした店舗、売りに目に入る。中心商店街は町の顔。高齢化や後継者不足で、自助努力には限界が来ている。活性化のため、政治の目を向けるべきと考える。

町長 高齢化や後継ぎ、資金繰り等の問題、またインターネット通販等の普及により、これまでの商店街運営では対応が難しい面があることは認識している。有効な活性化事業に対して、町からの補助、内容によっては国、県の補助メニューを活用したい。どのように活性化を目指すか、その方向性を商店

山崎 街全体で共有していただくことが重要だと考えている。
山崎 補助対象の拡大や、戸別訪問で対応するようなことはできないか。
課長 商工観光意見聴取については商工会と連携していきたい。

山崎 第6次長期総合計画の中で、グ
小・中学校グラウンド改修
山崎 第6次長期総合計画上のグラウンド改修事業については、大河原中学校校庭ソフトボール場側に、バックネット

山崎 これまで、各小中学校の校庭を改良・改修したような経緯はあるか。
教育総務課長 南小の校庭について、東日本大震災時に除染作業によって、土の入れ替



あの頃の活気は戻るのか(町史より)

ト設置を検討している。他の学校については、関係団体の意見を参考に、より適切で効果の高い改修事業に取り組みむ。

山崎 本町の中学校は部活動も盛んに行われている。グラウンド改修は、子どもたちの教育のためにも必要な環境整備のひとつではないか。
教育長 現状を維持しながら、子どもたちの安全安心を担保できるように考えたい。

9月会議

議案13件

報告4件

同意2件

委員会発議1件

認定8件

一般会計補正

白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業
歳入
東北観光復興対策交付金が一部不採択となったため減額。
▲1328万円

歳出
白石川堤「一目千本桜」ブランド化事業委託料の実施内容変更により減額。
▲1201万円

教育管理費
小中学校トイレ改修事業のため増額。財源は国庫補助金3分の1、町債(借入金)3分の2。
3億6162万円

小中学校費
県・全国大会出場の旅費宿泊費として増額。
93万円

エアコン設置による電力アップで、電気工作物保安管理委託料を増額。
23万円

田中裕人氏からの寄付による図書購入のため増額。
100万円

住宅管理費
町営上谷2階建て住宅移転補償費が、2件から10件に増えたため増額。
180万円

道路新設改良費
東桜15号線ほか道路側溝改良工事として増額。
1300万円

非常備消防費
消防団員活動時、ガ

エアコン設置による電力アップで、電気工作物保安管理委託料を増額。
23万円

田中裕人氏からの寄付による図書購入のため増額。
100万円

住宅管理費
町営上谷2階建て住宅移転補償費が、2件から10件に増えたため増額。
180万円

道路新設改良費
東桜15号線ほか道路側溝改良工事として増額。
1300万円

非常備消防費
消防団員活動時、ガ

ラズから手を守る耐切創手袋支給のため増額。
70万円
(全会一致で可決)

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定
地方公務員の臨時、非常勤職員が「会計年度任用職員」と明確化され処遇が改善。地方公務員法の改正に伴い条例が制定された。
(全会一致で可決)

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための条例の制定
法律の施行に伴い、関係条例が制定された。
(全会一致で可決)

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正
大河原町心身障がい者医療費の助成に関する条例の一部改正
令和元年9月5日をもって、一身上の都合により議員辞職。
(全会一致で可決)

印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
住民票、マイナンバーカード等へ旧氏を併記できるようにするための住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布され、旧氏を使用可能となったため、一部改正された。
(全会一致で可決)

削除された。
(全会一致で可決)

教育長の任命
鈴木 洋氏
(全会一致で可決)

固定資産評価審査委員の選任
原田 眞氏
(全会一致で可決)

議員辞職
榎 和也議員
令和元年9月5日をもって、一身上の都合により議員辞職。
(全会一致で可決)

7月会議

改正された主な条例	主な項目	現 行	改正後
体育施設(はねっこアリーナ)	メインアリーナ夜間	16,400円	16,720円
世代交流いきいきプラザ	多目的ホール(1時間)	540円	550円
大河原町駐車場	第1駐車場	14,150円	14,410円
自転車等駐車場	自転車駐車(1ヶ月)	1,150円	1,170円
駅前コミュニティセンター	イベントホール(全日)	7,560円	7,700円
下水道	基本使用料	1,458円	1,485円
給 水	家庭用基本料金	1,620円	1,650円

施設使用料が消費税税率10%に伴い10月1日より値上げ

《令和元年第2回定例会(7月会議)議案等審議結果》

件 名	議 決 日 日	議 決 結 果	議 員 別 表 決 結 果 一 覧																
			高橋 豊	伊勢 敏	佐久間 克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	榎 和也	庄司 充	万波 孝子	秋山 昇	山崎 剛	佐藤 貴久		
大河原町体育施設条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町世代交流いきいきプラザ条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町仙南夜間初期急患センター条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町駐車場条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町自転車等駐車場条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町駅前コミュニティセンター条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町下水道条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町給水条例の一部改正について	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和元年度大河原町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和元年度大河原町水道事業会計補正予算(第1号)	7/26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

議決責任の明確化

討 論

消費税率10%への増税は、住民に新たな不安を強いるもの。消費税率は平成元年4月に「高齢化社会のために」「社会保障のために」といって、税率3%で導入された。

しかし、この30年間で5%、8%と次々に引き上げられ、372兆円集まった消費税のほとんどは大企業や富裕層の減税の穴埋めに使われていること、さらに大多数の国民が増税反対であることから、水道料、下水道料、いきいきプラザ、自動車駐車場、体育館等の使用料の増額を認めることはできない。

上の表は、議案についての賛否が分かれた場合に掲載します。



取り付けが進むエアコン

委員会 発議

「大河原町議会議員選挙のあり方について検討する調査特別委員会」の設置について

本会議最終日、議会運営委員会須藤 慎委員長が、委発第2号を提出。

提案理由

今回の狙いは有権者の議会への関心を高めることと、選挙関連費用を削減すること。

また、わが町では桜まつりと議員選挙が、桜の開花状況次第が重なる現状がある。今や桜まつりは、期間中の入出が30万人に迫る春の一大イベント。この大切な財産を全国の皆様に良い思い出として持ち帰っていただくためにも、議会として議員選挙のあり方について議論することが求められている。

名称

大河原町議会議員選挙のあり方について検討する調査特別委員会の設置について

討論の後、起立による採択が行われ、賛成8人反対5人で可決。

賛成

高橋 豊、佐久間克明、須藤 慎、岡崎 隆、丸山勝利、庄司 充、秋山 昇、山崎 剛

反対

伊勢 敏、大沼 忠弘、高橋芳男、堀江 一男、万波孝子

構成 大河原町議会における会派の代表者及びこの委員会に参加を希望する議員
合計10人以内

調査事項

議員選挙のあり方に関する事項及びに関連する事項

調査期間

令和2年3月まで

討論(発言順)

委員長	高橋 豊
副委員長	岡崎 隆
委員	伊勢 敏
	佐久間克明
	高橋 芳男
	丸山 勝利
	堀江 一男
	万波 孝子
	秋山 昇
	山崎 剛

【反対】

伊勢 敏 本議案の狙いは当初提示の議案名「議会解散に関する特別委」で明白。提案者側の「議会を解散、議員と町長同日選挙で経費削減と投票率向上、桜まつり時期の迷惑な町選回避」の根拠が貧弱。同日選挙が目的の解散は「自主解散に関する特例法」の主旨から逸脱。選挙は町民が町の未来

【賛成】

高橋 豊 桜まつりの時期に大河原町議会議員選挙が行われる。桜まつりは20万人以上の観光客を呼び込む、本町のメインイベントである。私自身、この時期に選挙活動することを疑問に感じていた。自主解散の是非を含めた議会議員選挙のあり方について検討し、議論をすることは必要である。そのために特別委員会を設置することに反対する理由はないと考える。

【賛成】

佐久間克明 桜まつり、経費削減、同日選挙が大義名分ではなく乱暴だと言うならば、逆も言えると考え。議会制民主主義を重んじ、パフオーマ

会が開かれ、正副委員長を選任。

を考える、金銭に代えがたい重要な機会。茨城県美浦村議会は同日選挙で61.8%から53.3%に投票率が低下。桜まつり周辺で拡声器不使用申し合わせ、または4月下旬の選挙施行で迷惑は解消。議会解散が前提の本議案に反対。

【反対】 万波 孝子 桜まつりを理由に議会を自主解散し、来年10月に行われる町長選と「同日選挙」にしようという動きは、議会制民主主義に関わる重大問題である。花見客に迷惑をかけている、同日選で経費削減は理由にならない。議員の任期は4年で、4年間の負担を受けている。選挙日は合併や震災等に変更されることはあるが、今回の動きは慎重さを欠く安易な発想で、納得できない。町民間で話題となっているわけでもなく、あまりにも乱暴すぎて軽率な動きである。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

【賛成】 桜まつり、経費削減、同日選挙が大義名分ではなく乱暴だと言うならば、逆も言えると考え。議会制民主主義を重んじ、パフオーマ

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

ンスでないからこそ、採択のない全員協議会ではなく特別委員会を立ち上げ、私見や予想ではなく全議員が専門的な知識を深めたうえで可否を問うべき。専門的なことに時間をかけて調査することは大切であり、特別委員会設置の機会を妨げる環境づくりに繋がるのは望ましくない。

【反対】 大沼 忠弘

一切の説明や報告が無いのにも関わらず上程とは、ずさんと言わざるを得ない。議論の場を作ると言いながら、そのための肝心な事前協議、議論の場を持つことをしようとしな

解をまとめることが大前提。選挙の時期に限定するのはなく、広く議会改革全般にわたる議論の場を設けたうえで、その中の一つとして選挙の時期が問われるべき。

【賛成】

丸山 勝利 われわれ議員は、様々な物事に議論をして、より良い大河原町にするために町民より選ばれている。議員として「議論」をするのは最低限の仕事である。

【反対】

堀江 一男 賛成・反対の各討論を聞いていたが、どちらの意見に正当性があったか議員各位も理解

これまでの経緯

平成31年4月9日 議会運営委員会 岡崎 隆委員長より「町議会選挙のあり方などを検討する時期。議員各位と議論を深めたいので意見を求めたい。」旨の発言があった。

委員からは次のような意見が出された。

● 特別委員会を立ち上げ、議論を進めるべき。

● 間もなく委員会改選の時期が来るので、改選後に申し送るべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

が考えられた。● 議員として4年間の任期を全うすべき。● 特別委員会のメンバーには、全議員が加わるほうが良い。● 全員協議会で討論、議論すべき。

委員会活動

総務産業常任委員会

調査日 7月24日

駅前広場・駐輪場の管理、運営状況

○駅前広場

● 供用面積 4200㎡

● 整備の概要

平成6年度に供用開始した都市計画施設。

● 管理状況

(公社)大河原町シルバー人材センターに年間委託。

意見

- ① 駅前広場の水辺で遊ぶことができないか検討すべき。
- ② 駅前スロープに手すりが必要。
- ③ 駅通路下の清掃用倉庫が見えないようにするなどの対応が必要。
- ④ 駅トイレの改修が必要である。また、女性用トイレのプライバシーに配慮した改修も必要。



○駅前駐輪場

● 利用状況

整備当初は自動車、自転車共に満車に近い状況であったが、近年は自転車、バイクの定期契約及び一時利用が減少している。特に自

転車の利用減が大きくなっている。

● 管理状況
(公社)大河原町シルバー人材センターに年間委託。

意見

空き状況が大きくなっていることから、今後は他自治体を参考にしながら対策を講じる必要がある。

デマンド型乗合タクシー

● 課題・意見

- ① 利用者の伸び悩みやキャンセルが多い。
- ② 町の財政負担も大きくなっている。
- ③ 予約センター賃借料が年間200万円を超えている。別な場所を借りるなどの工夫が必要。
- ④ タクシー会社へ業務委託するなどの検討も必要。

文教厚生常任委員会

調査日 7月25日

(新)大河原町学校給食センター

○施設の概要

- 建物構造 鉄骨造地上1回
- 敷地面積 5135・13㎡
- 建築面積 1833・09㎡
- 最大給食提供数 2500食/日

● 職員体制

- 栄養士1名(県職員)。
- 事務員、町職員を従来通り配置する。
- アレルギー調理室の新設
- 多目的会議室の新設(モニターにより調理風景が見られる。)
- 2学期給食開始(約2100食)



意見

- ① 現在の給食センター職員のほとんどが新給食センターで採用される。



- ② 旧給食センターで使用されていた調理器具はどのようになるのか。
- ③ 子どもたちに安全でおいしい給食を提供するだけでなく、災害時には、食事提供の拠点となる施設と位置付けられていることから、新学校給食センターの役割は大である。

みんな町に住みたろな



金ヶ瀬中学校 関谷 寧々さん



金ヶ瀬中学校 水戸 匠さん

私は、自然が豊かな大河原町に住みたいと思います。今の大河原町は一目千本校で有名です。そのため、他の地域からたくさんのお客様の方々が来ます。観光客の方々が大河原町に訪れたとき、自然が豊かな方が、一目千本校の美しさが際立つのではないかと思います。また、自然が豊かだと、私達小・中学生も気持ちよく活動できます。

自然が豊かな大河原町になるよう、私も、できることを積極的に行っていきたいです。

私が望む大河原町は、「清潔で衛生的な町」です。

今の大河原町も清潔ですが、道路にペットボトルなどが捨ててあるのを見かけます。「ポイ捨て禁止」という看板はありますが、「自分くらい…」などという意識の甘さで捨ててしまっているのかと考えられます。

このようなことから、私は「一人一人の意識の変化」が「清潔で衛生的な町」への近道だと思えます。まずは私達から第一歩を踏み出せたらと思います。

街かどワンショット

今回は大河原町のシンボルのひとつでもある、NTTの鉄塔についてです。設備の老朽化に伴う鉄塔塗膜の飛散防止及び手すり等の補修工事が行われています。

この鉄塔は、通信サービスの信頼性向上を図るための無線鉄塔設備として、1982年7月に建設されました。現在でも、各種通信事業者のサービスに利用されているそうです。

今回の工事は10年から15年周期で行われる塗装、補修工事で、工事期間は2019年12月上旬までとのこと。



今回の表紙は



今回は、大河原力トリック幼稚園の運動会です。天気も良く、絶好の運動会日和。子どもたちは、かけっこや踊りに元気いっぱい取り組んでいました。親御さんと一緒に行う競技では、仲良く協力し合う、楽しそうな表情が印象的でした。

(須藤 慎)

12月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
 招集日 12月5日(木)・再開日 12月11日(水)
 手続きは必要ありません。詳細は議会事務局まで ☎53-2800

議会報告会を開催します

● 11月14日(木) 午後6時～

《原前集会所・堤生活センター・西原集会所》

● 11月15日(金) 午後6時～

《小山田生活センター・上谷集会所・中央公民館》



みなさんのご参加をお待ちしております。



頑張っている
子どもたち

祝 全国中学校体育大会へ出場!!

県大会で見事優勝し、8月に兵庫県を会場に行われた全国中学校体育大会へ出場を果たしました。

女子ソフトテニス個人



大河原中学校

古山^{えりな}愛梨奈さん(3年) 写真左

村上^{まゆ}茉悠さん(3年) 写真右

第5位 女子柔道70kg超級



金ヶ瀬中学校

佐藤^{ある}步瑠さん(3年)

編集後記

今回、台風19号におきまして、町内でも多くの被害がありました。衷心よりお見舞い申し上げます。

今年の東北東大ゴールデンイーグルスはクライマックスシリーズに進出し、最後まで東北を盛り上げてくれました。またラグビーワールドカップや世界陸上等、日本選手の活躍に感動の連続でした。いよいよ来年は東京オリンピックです。みんなで日本代表を応援し、みんなで感動を分かち合いましょう。

(須藤 慎)

編集発行責任者 佐藤 貴久
議長 佐藤 貴久
議会広報常任委員 佐久間 克明
委員長 須藤 慎
副委員長 万波 孝子
委員 大沼 忠弘
伊勢 敏
高橋 豊